

DV 被害者支援及びシェルター運営事業

- ① 電話相談 492 件、面接相談 180 件、同行支援 124 件実施した。内部研修を実施し支援の充実を図った。
- ② 国の寄り添いホットラインに参加。月 2回～3回、DV/性暴力相談を担当し、合計 438 件。
- ③ シェルターに年間 19 組、大人 19 人、子ども 9 人を保護した。本年度は委託の件数が 9 件と激減したが、委託以外の保護件数が 10 件であり、利用日数の総計としては、624 日となった。
- ④ 県の委託事業である心のサポート事業は継続されたので、利用者へのカウンセリングや保育を実施することができた。シェルター滞在中の心のケアを充実させることができた。
- ⑤ ドコモ市民活動団体助成により、DV 被害母子の心の回復と非暴力教育プログラムを作成し実施出来た。
2月～4月 全5回 母子 7組が参加。子どもと向き合うことが出来てよかったですとの感想が多かった。
- ⑥ 神戸市の委託事業で DV 被害者支援者養成講座開催 参加者 20 人。
- ⑦ 兵庫県の委託事業として DV 被害者自立支援講座、参加 34 人、DV 被害者支援ボランティア養成講座 参加 25 人、DV 防止出前講座 参加 39 人を開催した。

DV・デート DV 防止教育事業

- ① デート DV 防止授業は今年度、県内の大学での授業は 17 校となった。また、高校は学校独自の実施は 9 校に留まった。ただ、神戸市、明石市、宝塚市、三木市、相生市、たつの市、多可町では地元自治体の費用負担により 12 校で実施できた。中学校においても神戸市、明石市、宝塚市、西宮市、高砂市、三木市、加東市、西脇市、の自治体で同様に 31 校で実施できた。全体では、他府県（大阪、滋賀、京都、広島、香川）あわせて、15,558 人に実施し、デート DV 防止授業を始めた 2007 年度から 187,000 人を超えることとなった。
- ② 企業に向けて初めての試みとして、ドコモ神戸支店で DV 防止啓発講座として「しあわせな家庭を築くために」～対等なパートナーシップを築こう という講座を 2 月に実施出来た。参加社員 40 名程度だったが、「DV についてよく理解することができた、他人事ではないと思った、何か支援したいと思った」等の感想を頂けた。今後、このような取り組みを広げていきたいと思う。

支援者向けサンクスデーを開催 12 月 3 日（土） 参加 74 人 会場 塩屋グッゲンハイム邸

ウィメンズの活動内容がよくわかり、さまざまな方が活動を支えていることもわかり、団体への信頼感が増したとの声が多かった。継続した支援を得るためにも、支援者との出会いの機会も重要だと感じた。この会に参加したことをきっかけに、寄付をして下さったり、会員になって下さった方がおられた。

DV 被害者生活再建事業

1、WACCA の運営—女性やシングルマザーと子どもたちの居場所—WACCA の運営事業

- ① 女性やシングルマザーと子どもたちの居場所として、立ち上げた WACCA も 3 年半が経過した。開設当初より、参加者も多くなり事業の数も増加した。その結果のべ 3067 人を超える方たちが WACCA に来られた。また新聞などマスコミに取り上げられる機会も増えた。（NHK 神戸、神戸、毎日新聞など）

- ② アイロンがけなどの就労準備支援は、少人数ながら週 4 回午前中実施した。フリーヘルプとの関係も維持しながら、就労研修として、1 名がフリーヘルプの店頭での研修も行った。
- ③ 子どもたちの学習支援は、WACCA塾として小学 4 年生から中学 3 年生まで毎週火曜の 5 時から 8 時半まで、学習ボランティアさんの協力を得て実施した。3 月の受験時には 6 名の受験生が高校受験に挑み、全員が合格し高校への入学を果たした。また、8 月から毎週水曜日『すいすい教室』として、子どもの学習支援居場所として開始した。これらは「神戸市子どもの居場所づくり事業」として開催した。
- ④ 女性の学習支援の場「WACCA スクール」は継続して実施した。高卒認定を取るための学習や、定時制高校に通う女性の学習支援、資格を取るための学習相談の場として週 1 回水曜日に実施した。シングルマザーのために一時保育もつけて、女性たちが安心して学習に取り組めるように保育もつけて支援した。1 名が精神保健福祉士国家試験合格、1 名が定時制高校に合格。結果だけではなく、WACCA スクールはそこに集う女性たちがお互いに励まし合ったり、情報効果ができる場にもなり、次のステップを考え、チャレンジする人もいた。いずれの事業にも、ボランティアの力は欠かすことのできない大きな力となっている。学生さんや社会人も、就職や進学で、次の一步を踏み出すことになったが、WACCA での体験が、自信やエンパワメントにつながったと話していた。参加女性延べ 107 人、小中学生 延べ 930 人 ボランティア 604 人
- ⑤ シングルマザーの元気が出る講座は今年で 10 年目。この会を通して女性たちが孤立感を解消し、信頼できる仲間を得ることは生活再建を支える力を育てる非常に効果的である。特別なイベントとして、8 月にしあわせの村でバーベキュー、12 月はクリスマス会を開催。合計 女性 94 人子ども 130 人の参加があった
- ⑥ DV 被害者の自助グループとして、月 1 回、コスモスの会を開催している。同じ経験した仲間と悲しみや辛さを共有できることが、参加者の孤立感を解消し、エンパワメント効果は非常に高いと担当者から聞いている。
- ⑦ DV 被害女性のサポートグループを全 6 回継続して開催した。参加延べ 40 人 継続して参加することで、仲間意識や信頼感も育ち、よい仲間づくりが出来て、とてもよかったですとの声が多くあった。
- ⑧ 性暴力被害者自助グループ オリーブの会を月 1 回 開催してようやく 1 年になる。延べ 20 人と多くはないが、継続して来られる方も増え、貴重な語り合いの場となりつつある。

2、家庭訪問事業

神戸市委託事業は 10 月～3 月で 7 世帯を月 2 回ずつ訪問を実施。孤立しがちな家庭、単身女性や母子から悩みを話せる人がいてとても心強いと言われた。精神的、経済的な問題について、必要があれば行政の担当者に繋ぐようにした。兵庫県も委託事業として、県内（神戸市以外）の 4 家族の家庭訪問を月 2 回ずつ実施した。

3、「子ども元気ネットワーク関西」

認定 NPO 法人フードバンク関西、NPO 法人フリーヘルプと協働して、をたちあげて、支援を必要とする母子家庭に毎月 1 回食糧支援、3 か月に 1 回衣類の支援を行なった。当団体のこれまでの活動を通して繋がりのある母子家庭を対象としている。26 世帯に実施した。3 団体協働事業として、3 月 21 日（火）「子ども元気ネットワーク関西 IN あかし」をあかし市民広場にて開催した。

2016年度 活動計算書(報告書)

2016年04月01日～2017年03月31日(決算)

NPO法人女性と子ども支援センター「イメンズネット・こうべ」特定非営利活動に係る事業の
会計

(円)

科目	金額
1.経常増減の部	
(1)経常収益	
受取会費	
正会員受取会費	200,000
賛助会員受取会費	416,000
受取会費計	616,000
受取寄付金	
受取寄付金	9,210,159
受取寄付金計	9,210,159
受取助成金等	
受取地方公共団体補助金	2,218,290
受取民間助成金	4,640,000
受取助成金等計	6,858,290
事業収益	
相談事業収益	62,600
付添い支援事業収益	6,000
女性の自助グループ開催支援事業収益	18,700
緊急避難施設運営事業収益	5,383,570
生活再建支援事業収益(WACCA)	44,450
シングルマザー支援＆仲間づくり講座事業収益	344,800
デートDV防止教育普及事業収益	488,800
デートDV防止啓発授業実施事業収益	2,535,270
支援者養成講座開催事業収益	302,000
人材育成事業収益	3,500
情報提供事業収益	156,252
交流会開催事業収益	67,500
事業収益計	9,413,442
その他収益	
受取利息	88
雑収益	32,772
その他収益計	32,860
経常収益合計	26,130,751
(2)経常費用	
事業費	
【人件費】	
役員報酬	1,200,000
給料手当	5,660,558
雑給	93,000
福利厚生費	920
【人件費計】	6,954,478
【その他費用】	
ボランティア謝金	297,000
諸謝金	2,593,641
旅費交通費	3,898,776
会議費	39,860
通信運搬費	256,065
食材費	246,099
消耗備品費	179,905
消耗品費	348,794
事務用品費	43,445
新聞図書費	273,539
会場費	56,980
保険料	46,730
水道光熱費	454,516
支払地代家賃	3,781,392
支払手数料	13,410
雜費	40,492
減価償却費	96,095
【その他費用計】	12,666,739
事業費計	19,621,217
管理費	

2016年度 活動計算書(報告書)

2016年04月01日～2017年03月31日(決算)

NPO法人女性と子ども支援センター「イメンズネット・こうべ」特定非営利活動に係る事業の
会計

(円)

科目	金額
【人件費】	
役員報酬	1,200,000
給料手当	773,020
法定福利費	398,560
福利厚生費	87,500
【人件費計】	2,459,080
【その他費用】	
諸謝金	32,000
旅費交通費	264,884
会議費	87,863
交際費	70,000
通信運搬費	366,885
消耗品費	201,126
事務用品費	86,404
新聞図書費	12,410
研修費	10,800
印刷製本費	619,380
修繕費	91,500
保険料	55,000
水道光熱費	102,829
諸会費	42,000
支払手数料	222,495
租税公課	507,100
雑費	38,880
減価償却費	155,600
【その他費用計】	2,967,156
管理費計	5,426,236
経常費用合計	25,047,453
当期経常増減額	1,083,298
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
経常外収益合計	0
(2) 経常外費用	
経常外費用合計	0
当期経常外増減額	0
税引前当期正味財産増減額	1,083,298
法人税、住民税及び事業税	196,979
当期正味財産増減額	886,319
前期繰越正味財産額	12,465,479
次期繰越正味財産額	13,351,798